

東京都公民館連絡協議会 研修会及び職員部会第5回（報告）

小川公民館 小山豊

1 研修会「公民館としての魅力ある講座とは」

2 日時 平成29年9月13日（水） 午後2時～4時

3 会場 小金井市公民館本館

4 研修会までの経緯と研修会内容

（1）職員部会の研修会について、昨年度は9月の研修会の実施はなかったが、今年度は9月の研修会と来年2月「東京都公民館研究大会（狛江市開催）」の分科会での2本を実施する。

（2）今回の研修会は「公民館としての魅力ある講座とは」をテーマに金田光正さん（月刊社会教育編集長、元富士見市鶴瀬公民館長）を迎え開催。

当日は定員40名のところ、都公連非加盟市からの参加希望もあり、定員を超える46名の参加があった。

内容は、公民館が設置された意味や法体系に位置づけられた公民館に触れ、カルチャースクールなどではなく社会教育として講座を行うことについての説明を受けた。

その後、公民館事業とは何か、公民館としての魅力ある講座を考えるということについて、過去の事例や経験を交えての講座企画の話で、2時間という短い時間でしたが、あっという間に終わってしまい大変濃い内容であった。

ただ、前半の法定体系の説明が長く、後半の事例の内容が短かったのが少し残念であった。

5 職員部会第5回

6 日時 平成29年9月13日（水） 午後4～5時

7 会場 小金井市公民館本館

出席 小金井市（筈本）、小平市（小山）、東大和市（富田）、福生市（西田）、町田市（今村）、昭島市（遠藤）、狛江市（横山）、国分寺市（南波）、日野市（飯田）、国立市（遠藤）、西東京市（山本）、伊東顧問

8 内容

（1）東京都公民館研究大会の全体会は開催要項（案）について内容確定に至る。

テーマは「東京の公民館の未来～持続可能な地域、次世代の学びに向けて～」。基調講演は高尾戸美（タカオヒロミ）氏（多摩六都科学館職員、専門分野は博物館学）を予定。

（2）上記大会での職員部会担当の課題別集会については、「公民館として魅力ある講座」を深く掘り下げて、研修会と同じ金田光正さんに依頼するが、9月の研修会と同じ内容にならないようにしていく。

9 次回 10月17日（火）午後2時～ 会場：小金井市公民館本館

東京都公民館連絡協議会職員部会 第6回（報告）

小川公民館 小山豊

- 1 日時 平成29年10月17日（火） 午後2時～
- 2 会場 小金井市公民館本館
- 3 出席 小金井市（筈本）、小平市（小山）、東大和市（富田）、福生市（西田）、町田市（今村）、狛江市（横山）、国分寺市（南波）、国立市（遠藤）、西東京市（山本）、伊東顧問
- 4 内容
 - (1) 事務局より
 - ・職員部会ニュースコラム担当順
 - 10・11月号 東大和市、西東京市（11月25日締め切り）
 - 12・1月号 昭島市、町田市（1月27日締め切り）
 - (2) 協議事項に関して
 - ・職員部会研修会の反省
 - 9月13日（水）実施した「公民館としての、魅力ある講座づくりとは」の反省を行った。担当した職員部会委員の感想として、内容が多く、社会教育や公民館という部分についても押さえて話していただいた為、復習を含めとても有意義な話であったという一方で、後半部分の講座の具体的な事例をより多く扱っていただければより良かったというものが多かった。
 - また、参加者へアンケートを配布しており、集計結果を改めて報告。参加者は44名でアンケートの回収数は32枚。「話が分かりやすかった」「内容が豊富で充実したものであった」という良かった点が挙げられた。一方で、「講師の体験をもう少し詳しく伺いたかった」など具体的な事例や経験を聞きたかったという意見があった。
 - ・都公連研究大会課題別集会について
 - 第53回研究大会の様子を確認後、課題別集会の内容について話を行った。
 - 「公民館にとって魅力ある講座とは」というテーマであるが、その中で、“魅力”について、職員や公運審、受講者など立場や各個人によって魅力は変化するため、誰にとっての魅力なのか、何を持っていての魅力なのかなどを今一度考える必要がある。
 - また、この課題別集会に参加することで、どのような気付きや学びを得てもらうかを明確にする必要がある。
 - 決定する必要事項について、上記などを踏まえ改めて次回の11月15日（水）に開催される職員部会定例会で再度検討することとした。
- 5 各市からの報告事項
 - ・研修部会主催後期初任者向け研修開催の案内（町田市より）
- 6 次回開催について
 - 11月15日（水）午後2時～ 会場：小金井市公民館本館

- 1 日時 平成29年11月15日（水）午後2時～
- 2 場所 小金井市公民館本館
- 3 出席 小金井市（筈本）、小平市（小山、武井）、東大和市（富田）、福生市（西田）、昭島市（遠藤）、狛江市（横山）、国分寺市（南波）、日野市（佐藤）、国立市（遠藤）、伊東顧問

4 内容

（1）事務局より

- ・職員部会ニュースコラム担当順

10・11月号 東大和市、西東京市（11月25日締め切り）

12・1月号 昭島市、町田市（1月27日締め切り）

（2）協議事項に関して

- ・都公連研究大会課題別集会について

課題別集会の目的として、「各人が魅力を感じるポイントを知る」ということ。魅力は人によって感じ方が違うため、“これが魅力ある講座だ”と提示することは難しい。そのため、さまざまな立場の人の“講座のこの部分に魅力を感じる”というポイントに気付いてもらうことが目的。

事例発表について、職員部会メンバー（富田・筈本）で行うことを検討。内容として、担当した講座を分析し、担当者（職員）目線で考える魅力を生み出した部分を報告するなど。12月の職員部会定例会にたたき台を提出する予定。

グループワークを行う方向で検討。人数など形態は未定。

注意しなければいけない点として、魅力とは何か（誰にとってか？個人によって違うものではないのか？）ということをもう少し詰め、共有化する必要があるのではと指摘が出た。それを踏まえ、例えば職員部会で「魅力＝〇〇だ」と最初に定義づけし提示した上で課題別集会を進めるか、または、「魅力＝〇〇だ」ということを参加者と一緒に考えていく、ということを進めるかなどの方向を考える必要がある。

その中で、例えば、当日の流れとしてまずは事例報告発表（2人）→グループワーク（事例報告をもとに、魅力を感じる部分を分析、発表）→助言者による総評および助言者が考える魅力を提示してもらう、といった流れはどうか、という意見が出た。

12月定例会にて、たたき台をもとにした事例報告の内容検討、当日の流れ、助言者に依頼する内容の決定などを行う。

5 各市からの報告事項

各市で実施している事業についての情報提供の依頼（小金井市）

主催講座に関する案内（日野市）

6 次回開催について

12月20日（水）午後2時～ 会場：小金井市公民館本館